

兵庫県保険医協会北阪神支部・第 37 回総会 記念講演

市民公開
入場無料

「新型コロナワクチンの効果、有効性と副反応」

講師 大阪大学免疫学フロンティア研究センター招聘教授・大阪大学名誉教授

宮坂 昌之 先生

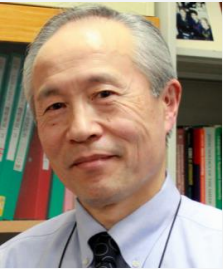
日時 11 月 5 日(土) 15 時 15 分～16 時 45 分

会場 伊丹シティホテル3階 光輝の間

(伊丹市中央6丁目 2-33 TEL072-777-1181)

定員 先着50人程度(※COVID-19 拡大防止のため必ず事前申し込みの上、マスク着用、等ご協力ください。)

新型コロナウイルス感染症は世界中に広がり、これまでに約 650 万人もの死者を生み出してきたが、一方で、ワクチン接種によって重症者、死者の数を大きく減らせることが分かってきた。なかでも mRNA ワクチンは一定程度、感染やその伝播を抑え、重症化については高い抑制効果を示す。実は、mRNA ワクチン開発の歴史は今から 10 年以上前にさかのぼる。日本には到来しなかった感染症 MERS の勃発の頃 (2012 年) から開発が続けられていた。ワクチンは健康人を対象とすることから、極めて高い安全性が求められる。この間、世界中から安全性に関するデータが集まり、ワクチン接種はゼロリスクではないものの、mRNA ワクチンの安全性には大きな問題がないことが明らかになっている。ワクチン接種を受けた妊婦に不妊、流産、奇形は増えていない。ワクチン接種で免疫力が下がるというのも単純化され過ぎた誤った情報である。ただし、最近の一つの問題は、次々に新たな変異株が出現するにつれてワクチンの感染予防効果が下がってきたことである。本講演では、新型コロナ感染症やワクチンに関する誤解や現在の問題点について解説するとともに、今後の見通しについても触れたい。



【宮坂 記】

【ご略歴】[みやさか まさゆき] 1973 年京都大学医学部卒業。1981 年オーストラリア国立大学大学院博士課程修了。その後、金沢医科大学血液免疫内科、スイス・パーゼル免疫学研究所、東京都臨床医学総合研究所を経て、大阪大学医学部教授、同・医学研究科教授を歴任。2007 年～2008 年日本免疫学会会長。2013 年～2018 年フィンランド学士院招へい教授。著書に『標準免疫学』(医学書院)、『免疫と「病」の科学』、『免疫力を強くする』、『新型コロナ 7 つの謎』(いずれも講談社ブルーバックス)、『新型コロナワクチン本当の「真実』、『新型コロナの不安に答える』(いずれも講談社現代新書)

お問合せは 協会事務局 Tel.078-393-1801 小川・大野まで

(切り取らずにご返信ください) 【お申し込み】 FAX : 078-393-1802

□総会議事 (伊丹シティホテル 2 階 梓の間 14 時 30 分～) に参加します () 人

□記念講演 (3 階 光琳の間 15 時 15 分～) に参加します () 人

□懇親会 (3 階 光輝の間 17 時 00 分～) に参加します () 人

地区 医療機関名

氏名 TEL FAX

兵庫県保険医協会

北阪神支部 ニュース

2022 年 10 月 25 日号 No.330

発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部
支部長 中井通治

〒 650-0024 神戸市中央区海岸通 1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル 5 階

☎ (078) 393-1801 FAX (078) 393-1802

http://www.hhk.jp/

在宅医療研究会 感想文

誰もが取り組める在宅医療のコツ

尼崎市・土田医院 土田 哲雄 先生



講師の長谷川吉昭先生 (左上) が、外来から在宅医療までの流れを解説

支部は 9 月 17 日に在宅医療研究会を伊丹市内で開催し、会員の医師ら 12 人が参加した。尼崎のはせがわ内科の長谷川吉昭先生が、「～群雄割拠の在宅医療～『外来から在宅医療までをシームレスに』 当院の場合」をテーマに講演した。参加者の感想文を紹介する。

私が先生と知り合うきっかけになったのは、認知症の進んだ糖尿病患者さんが、緩徐進行 1 型糖尿病とわかって、1 日 4 回のインスリン注射で在宅管理をすることになり、長谷川先生に相談して、FGM システムの Free Style リブレプロを使用して、連続性のある血糖モニターを行う方法を教えていただいた時からです。

(次ページに続く)

(前のページより)

低血糖をいかに防ぎ、即効性インシュリンにより食後高血糖の管理を行うことで、適正管理が実現できました。たとえ、保険診療に乗らなくても、あえてリブレブロを自前で購入されておられる先生の医療に対する情熱をその時に感じておりました。

その後も、アルコール性肝硬変患者が末期肝不全となり、若い頃に使用した覚せい剤のせいか、全身の強い疼痛がコントロールできず困っていた時、私自身の麻薬施用者免許が失効していたため、先生に麻薬による疼痛

管理をお願いして、看取りまでしていただいたこともありました。コロナウイルス感染症の発熱外来をしており、急激な患者数増加で、抗原検査キットが枯渇してしまって、途方に暮れたことがありました。現状を尼崎医師会のメーリングリストでつぶやいたところ、それを見てくださった長谷川先生が直ちに自分の手持ちのキットを譲りますと声かけをしていただき、大いに助けられました。そんな困っている時には、すぐに助けを出してくださる長谷川先生の今では大ファンです。私自身、在宅医療の専門家でも何でもありませんが、先生の医療に対するフィロソフィーを聞かせていただけるのを楽しみに、来場しました。

初めての施設で、車で来たために駐車場を探すのにうろうろして、講演会の開始にかなり遅刻してしまい、残念ながら聞き逃したところが多くあります。在宅医療に必要なノウハウを順序だって、ていねいに説明されました。在宅医療を決して大げさに考えないで、自分だけで全てを抱え込むことがないように、誰もが取り組める在宅医療のコツも教えていただきました。例え、月に 1 回、1 回の訪問時間が短くても、家族へのねぎらいを大切にすること。ケアマネジャーとのコミュニケーションを大切にして、必要に応じて的確に動いてもらうことや、かなり病状が不安定となってきたら、訪問看護師さんをお願いして、補完してもらうことなど、介護に携わる方たちとの連携プレーの重要性を示されました。通常の外来診療においても、たとえば肺炎患者を在宅で診なければならないとき、特別訪問看護指示書を書くことで、1 週間連続の抗生剤点滴も可能となることも説明されました。その他、在宅での薬剤処方において、訪問薬剤師を活用することや、末期癌等で疼痛を少しでも和らげるための疼痛緩和用薬剤の使用のコツについても触れられました。その他、先生の豊富な経験から来る在宅医療の肝に当たるポイントを数多く教わりました。あまりにも多岐にわたり、書き切れない内容でした。



在宅医療の連携プレーの重要性を説明する長谷川先生

☆北阪神支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。

日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。

TEL 078-393-1817 / FAX 078-393-1802 e-mail akane@doc-net.or.jp 担当：大野まで



幹事会だより

第 421 回 10 月 6 日 (木) 参加 7 人

◆北阪神支部の会員数と組織率

9/30 現在 医科 361 人 (74%)、歯科 213 人 (65%)

◆情勢と医療運動対策

10 月幹事会では、支部総会での任務分担、総会議案書 (案) の内容について話し合われた。オンライン資格確認導入の義務化について議論された。

◆当面の支部活動

11 月 5 日 (土) に支部総会を伊丹シティホテルにて開催予定。記念講演として、大阪大学免疫学フロンティア研究センター招聘教授・大阪大学名誉教授の宮坂昌之先生に「新型コロナウイルスの効果、有効性と副反応」をテーマに講演いただく予定 (案内 4 面)。

2023 年 2 月 4 日 (土) に新春政策研究会を「マイナンバーカードについて (仮)」(講師：加藤擁一副理事長・政策部長) をテーマに開催予定。

◆次回幹事会

11 月 10 日 (木) 14 時 30 分～「宝塚中央公民館 2 階 207 号」にて開催予定
お問い合わせは Tel 078-393-1817 小川・大野まで

健康情報テレホンサービス

通話料無料 (0120) 979-451



- ★ 24 時間いつでも 3 分間程度の開業医の手作りの健康・医療情報を放送しています。
- ★ インターネットでもご覧いただけます。過去の放送分もキーワード検索できます。URL は、<http://www.hhk.jp/> 左下のバナー「健康情報テレホンサービス」をクリック。

【11 月のテーマ】

月曜日	増加する卵巣癌	木曜日	酒さ (赤ら顔)
火曜日	顎がだるく感じたとき	金土日	アカシジア
水曜日	脂肪肝の話		

★ 11 月 3 日 (木・祝) は水曜日のテーマを、23 日 (水・祝) は火曜日のテーマを放送します。

★ 都合により、テーマの一部を変更する場合があります。祝日は、前日のテーマを放送します。

★ 患者さんに配布していただける放送テーマのミニチラシ (A6 サイズ) を作成しています。送付ご希望の医療機関は事務局 ☎ 078-393-1840 まで。